

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL:0120-094-777 (通話料無料)
公告の方法	当社は以下のURLで電子公告を行います。 http://www.shizuki.co.jp/ ※事故その他のやむをえない事由により、電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部

ご注意

1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

『指月(シヅキ)』社名の由来

『指月』の社名は、創業者山本重雄が長州（現在の山口県）の出身であること、また幕末長州藩の一代家老として藩政改革で功を成した村田清風が先祖にあたることから、毛利家歴代の居城である萩城（指月城）から名をお借りしたのが命名の由来です。



株式会社 指月電機製作所

本社 〒662-0867 兵庫県西宮市大社町10番45号
TEL:0798-74-5821 FAX:0798-73-0807
URL www.shizuki.co.jp



株主通信

第87期 第2四半期報告書

平成26年4月1日～平成26年9月30日

メッセージ

原点にかえり、「1個づくり」で
ものづくりと営業を強化する。

特集 シヅキのツヅキ

障害防止



証券コード 6994 / 東証二部

株式会社 指月電機製作所



AIM2018 事業領域の11ドメイン



今回の主なトピックス

- 鉄道用(地上設備)
 - グローバル産業機器
- 鉄道車両用コンデンサから、変電所に設置する大型の装置まで、これまでの実績とこれからの取り組みをご紹介します。
- 自動車機器 (■ 雑防 / ■ HEV・INV)
- 自動車だけでなく建設・農業機械もハイブリッド化に。シヅキのコンデンサも貢献しています。
- 詳しくはP7・P8をご覧ください



電気をマネジメントするさまざまな商品を開発・生産して、お客様に提供し、社会に貢献する。

社員一人ひとりが「品質・コスト・納期」という経済的視点や、「再利用・負荷の減少・エネルギーの再生」という環境的視点を持ち、業務に取り組む。

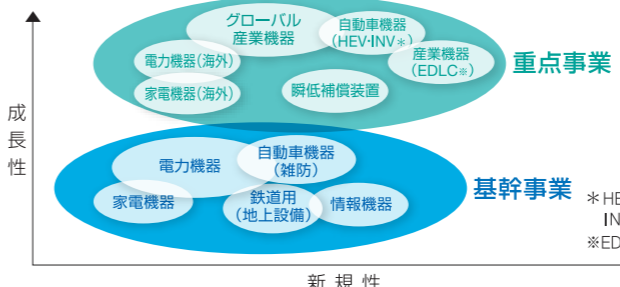
鉄道や電気自動車の好調を受け、AIM2018の目標達成圏内へ。

第87期第2四半期は、売上高としては前年同期比で11.4%増収、営業利益につきましては29.0%の増益となりました。中国を中心に海外向けの鉄道車両分野における需要が復調していることに加え、電気自動車(EV)、ハイブリッド自動車(HEV)用コンデンサが引き続き好調に推移しており、大きな牽引力となっています。

自動車については、消費税増税前の駆け込み需要もありましたが、現在のところ増税後も想定されたほどの落ち込みは見られません。また、長い時間軸で見たとき、化石燃料型の自動車から電気自動車へのシフトは今後もますます進んでいくと考えられます。EV・HEV市場のさらなる成長を期待すると共に、私たちのコンデンサが、より環境にやさしい自動車の普及に貢献していければと願っております。

鉄道車両については、海外需要の高まりに加えて円安が追い風となり、私たちのお客様である国内メーカー様がグローバルなビジネスを展開しやすい環境となっています。現在、九州指月では増産体制に入り、需要増加に応えるべく供給力を高めております。

また、今回3割近く営業利益を伸長できた背景には、シヅキの原点であるJIS(シムス)を徹底し、販売管理費やものづくりの原価を低減できたことが、大きく寄与していると考えております。



* HEV:ハイブリッド自動車
INV:インバータ自動車
* EDLC:電気二重層コンデンサ



代表執行役社長 伊藤 薫

原点にかえり、「1個づくり」でものづくりと営業を強化する。



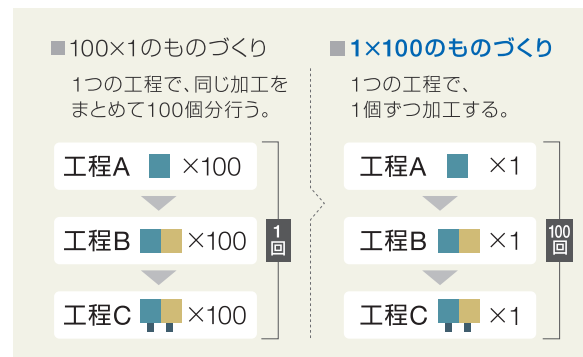
100×1ではなく、1×100のものづくりを。

シヅキでは、トヨタ生産方式に学び、「かんばん方式」や「ジャスト・イン・タイム」「自動化」などの考え方を取り入れ、生産性の向上に努めています。その中のひとつに、「1個づくり」があります。1個づくりとは、100×1ではなく1×100のものづくりをするということです。

たとえば、折り鶴を100個折るとします。100×1のものづくりだと、まず折り紙を半分に折るという作業を100個まとめて1度に済ませ、次の折り方に移ります。この方が、一見効率的に見えますし、楽だと言う人がいます。ところが、私たちの1×100のものづくりでは、1個の折り鶴を最後まで仕上げた後、また次の鶴を折るというつくり方をします。1度に3つ、4つとまとめて折った方が早そうなところを、こらえて愚直に1個ずつ仕上げていくのです。

すると何が起るのでしょうか。まず、仕掛かり品の数を、最小に抑えることができます。仕掛かり品とは、

折り鶴でいうと途中まで折りかけて置かれている状態。この状態では売り物にならず、商売ができません。100×1の場合、こうした仕掛かり品を100個抱えることになるのです。1×100の場合、1個ずつしかものをつくれませんが、完成品としてすぐに販売できます。また、ある工程で折り方を間違えていた場合、次の工程ですぐに気づき、ロスを最小に抑えることができます。手間がかかり非効率に見えるかも知れませんが、実は1個づくりを徹底した方が経営を合理化できるのです。



1個づくりの考え方を、営業活動にも取り入れる。

営業活動においても同様です。100万円の商売をするとして、1社で100万円分買い取ってくれるところがあれば、一見ありがたい話です。しかし、その1社から次の受注がなければ0円になってしまいます。私たちは、1万円の商品を100社に買っていただくような「多顧客限量」の営業を目指してきました。その結果、現在約1500社のお客様とお取引をさせていただいています。たとえば、現在売上を伸ばしている「電解コンデンサ

さまざまな施策を試み、多角的に販路を広げていく。

現在シヅキでは、「生産性向上設備投資促進税制」という国の制度を活かした販売促進活動に取り組んでいます。一定の省エネ基準などを満たした最新設備に対して、即時償却または税額控除5%を認める優遇税制。こうした制度を追い風に、産業機器分野での販路を拡大すべく、お客様へのPRを展開しています。

また、「電気二重層コンデンサ」において、内部抵抗を従来品の約1/3に低減（業界最小）した新商品を開発。新たな分野のお客様からの受注拡大に向けて、取り組んでまいります。

このように、生産現場と営業が、原価低減と販路拡大に向けた取り組みを併行して進めることで、AIM2018に掲げた目標も達成できるものと考えております。今後、こうした活動をさらに発展させ、より一層の成長を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、

代替用フィルムコンデンサ」。もともとは鉄鋼の製造現場向けが中心だったのですが、ガスや石油などのパイプライン、大型船舶、太陽光発電のパワーコンディショナというように、用途の幅を広げることで販路を拡大しています。従来のコンデンサに比べ、長寿命かつ信頼性が高いことなどから、多くのお客様から好評をいただいています。

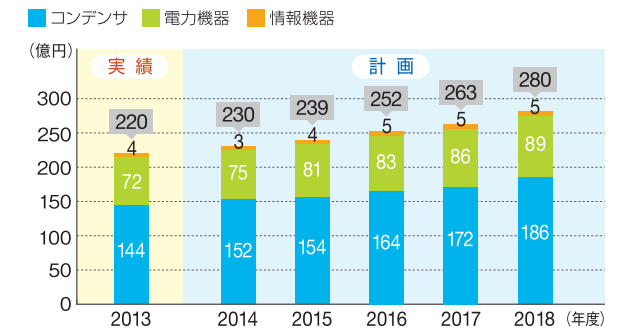


電解コンデンサ代替用フィルムコンデンサ

今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

▶中長期経営計画AIM2018

売上高実績と計画



▶2018年度に達成すべき経営指標





シヅキから旅立ち、
社会を支える商品たち

vol.3 電気機器が増え、便利になる一方で、トラブルも増加。
障害を防ぎ、周辺機器や暮らしを守る。

障害防止

家電を自動でコントロールするインバータ機器や、ボタン操作でいろいろなことができる自動車。生活がどんどん便利になる一方で、さまざまな電気機器が増えたことにより、電気に関する障害も増えています。こうした障害を、シヅキの商品が予防しています。

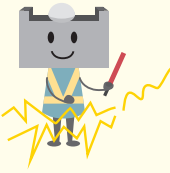
電圧を安定させる



瞬时无効電力補償装置 (SVC/SVG)

電圧の変動を抑えて、“ちらつき”などの障害を防ぐ!

ダムや建設現場で、一度にたくさんの電力を使う大型設備。急激な電気が流れると「電圧変動」が起こり、照明のちらつきなどが生じます。こうした障害を防ぐ役割を担っています。



生産ラインを守る

瞬低補償装置

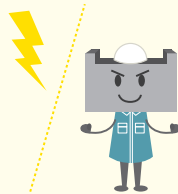


V-Backup6600

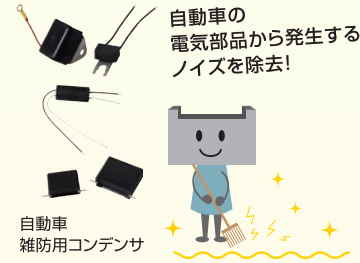
SAG-Backup

雷や雪の影響で、電圧が0.1秒ほど下がる「瞬低(瞬時電圧低下)」。このわずかな時間でも、工場の生産ラインやシステムに大きな被害が及ぶリスクがあります。

“瞬低”から生産ラインを守り、高速&精密なものづくりをサポート!



自動車のノイズを抑える



自動車
雑防用コンデンサ

窓を開けたり、シートを倒したり、自動車の機能は自動化が進み、多くのモーターが使われています。こうした電気部品から発生するノイズを抑えるのも、コンデンサの仕事です。

高調波の影響を防ぐ



エアコン用
アクティブフィルタ

エアコンをかしこく制御するインバータ。しかし、便利な反面、電圧のひずみが起こる原因にもなっています。高調波を打ち消す装置が、周辺機器への影響を防いでいます。

※例:ショッピングモールなどの室外機他

家電のノイズを抑える




雑防用コンデンサ

家庭でも、小さなコンデンサたちが大活躍!

モーターのあるところに、ノイズあり。ドライヤーや掃除機、ミキサー・フードプロセッサなど、さまざまな家電に雑防(ノイズ除去)用のコンデンサが使われています。

建設・農業機械のハイブリッド化に貢献

PRODUCT




※画像はイメージです

燃料費の高騰や環境への配慮から、自動車だけでなく大型建設機械や農業機械のハイブリッド化が進んでいます。国内でも、経済産業省が補助金を交付するなど普及に向けた動きが広がっています。そんな中、シツキのインバータ向け平滑用コンデンサなどが省エネルギー型建設機械・農業機械に採用され始めており、今後の伸長が期待されます。

近隣中学校 就業体験「トライやる・ウィーク」の受け入れ


CSR



兵庫県では、阪神・淡路大震災などをきっかけに、「心の教育」の一環として中学生に体験型学習の場を提供する「トライやる・ウィーク」が行われています。シツキも近隣中学校の生徒を受け入れ、1週間の就業体験を実施。製造現場での組み立て作業からお客様対応まで、当社ならではの仕事を体験してもらいました。

JECA FAIR2014(電設工業展) 出展商品が受賞

PROMOTION



容量可変型
コンデンサ設備 LBV-1

2014年5月、インテックス大阪で開催されたJECA FAIR2014に出展。出展商品のひとつ「容量可変型コンデンサ設備」が「一般社団法人日本電設工業協会 奨励賞」を受賞しました。電圧がさまざまに変動する環境下でも、1台のコンデンサで複数の容量に対応でき、省エネなどに大きく貢献する新発想の商品です。

社会インフラを支える鉄道向け商品

～これまで培ってきた実績と信頼、世界を舞台にしたこれからの成長～

国内で培った信頼
車両や地上設備を支える、高度な品質と技術

社会インフラを支える重要な交通網として、この国の輸送を支えてきた鉄道。シツキの商品は長きにわたり、新幹線をはじめ在来線、民間鉄道まで、多くの鉄道に利用されてきました。省エネやCO₂削減につながる「電力効率改善」、電気公害から設備を守る「電力品質向上」、列車の増便を可能にする「輸送力増強」、乗客や作業者の安全を守る「安全対策」。徹底した安全性や耐久性が要求される鉄道分野において、シツキの商品は今日も、信頼に応え続けています。



変電所用並列コンデンサ

九州指月がフル稼働
海外の鉄道車両向け商品が、成長の牽引力へ

CO₂排出量が少ないクリーンな乗り物として、鉄道の整備が世界で進んでいます。特に2013年下期以降、中国向けの需要が復調したことから、鉄道車両用コンデンサへの注文が増加。現在、九州指月が増産体制で供給に努めています。シツキがAIM2018で掲げる重点事業のひとつ「グローバル産業機器」において、海外の鉄道車両向け商品が、成長の牽引力となることが期待されています。基幹事業である国内向けの「鉄道地上設備」も順調に推移。シツキはこれからも、国内外の鉄道インフラを支え続けます。

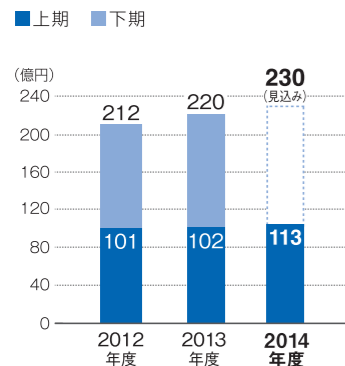


※画像はイメージです

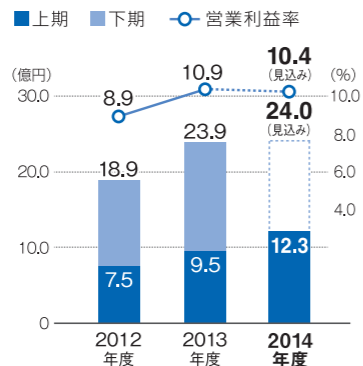


直流変電所直列リアクトル

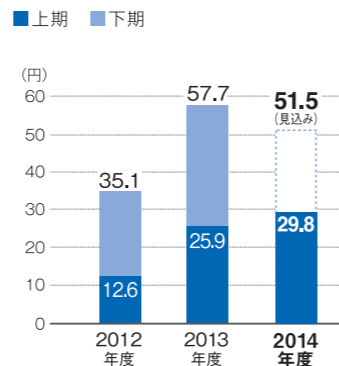
売上高



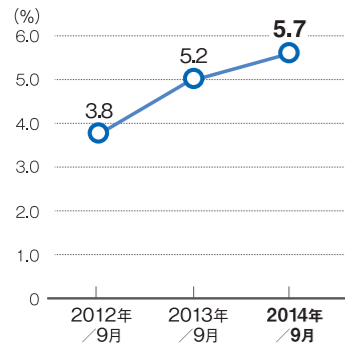
営業利益・営業利益率



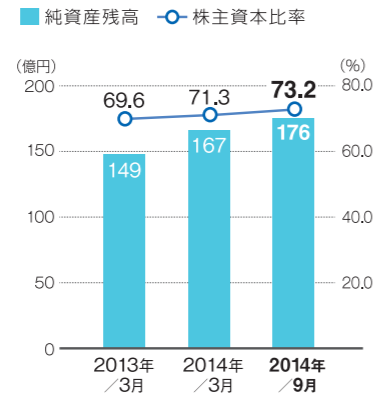
1株当たり利益 (EPS)



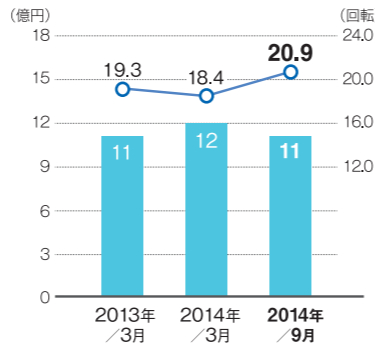
総資産経常利益率 (ROA)



純資産残高・株主資本比率



棚卸資産残高・棚卸資産回転率



Point

業績面では前年同期比で増収・増益で、上期としては過去最高を記録しました。2014年度通期も過去最高の売上高を目指しております。財務体質面でも改善が進み、株主資本比率は73.2%と改善し、ものづくりの効率性を表す棚卸資産回転率は高レベルをキープしております。

(注) 十百万円の位を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	第86期 第2四半期	第87期 第2四半期
	平成25年9月30日現在	平成26年9月30日現在
資産の部		
流動資産	10,047	11,411
現金及び預金	4,158	4,933
受取手形・売掛金	4,441	5,019
棚卸資産	1,110	1,101
その他資産	336	357
有形固定資産	10,040	10,633
無形固定資産	37	33
投資その他の資産	1,512	1,733
資産合計	21,638	23,812
負債の部		
流動負債	3,365	3,841
固定負債	2,580	2,379
負債合計	5,945	6,221
純資産の部		
株主資本	14,961	16,537
資本金	5,001	5,001
資本剰余金	3,308	3,308
利益剰余金	7,881	9,462
自己株式	△1,230	△1,235
その他の包括利益累計額	613	887
少数株主持分	117	166
純資産合計	15,692	17,590
負債純資産合計	21,638	23,812

連結損益計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	第86期 第2四半期	第87期 第2四半期
	平成25年4月1日から平成25年9月30日まで	平成26年4月1日から平成26年9月30日まで
売上高	10,190	11,347
売上原価	7,026	7,869
売上総利益	3,163	3,477
販売費及び一般管理費	2,210	2,247
営業利益	953	1,229
営業外収益	223	155
営業外費用	71	41
経常利益	1,104	1,344
特別利益	116	-
税金等調整前四半期純利益	1,221	1,344
法人税、住民税及び事業税	440	436
法人税等調整額	1	16
少数株主損益調整前四半期純利益	779	891
少数株主利益	24	23
四半期純利益	755	868

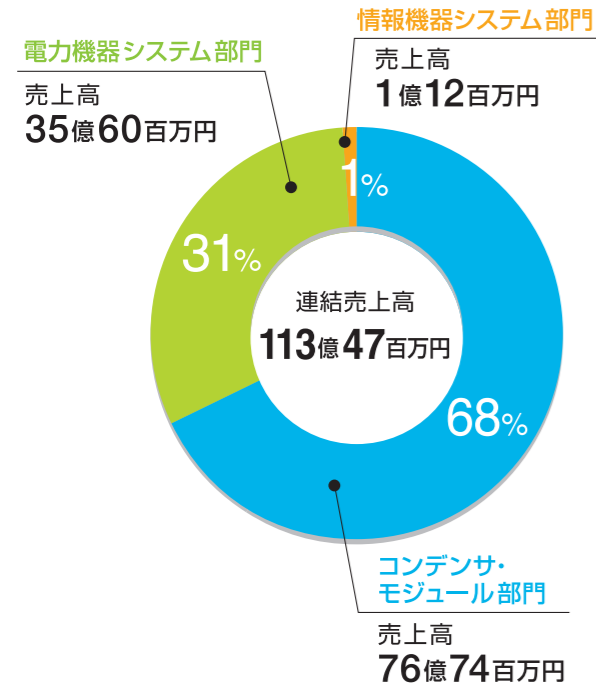
連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

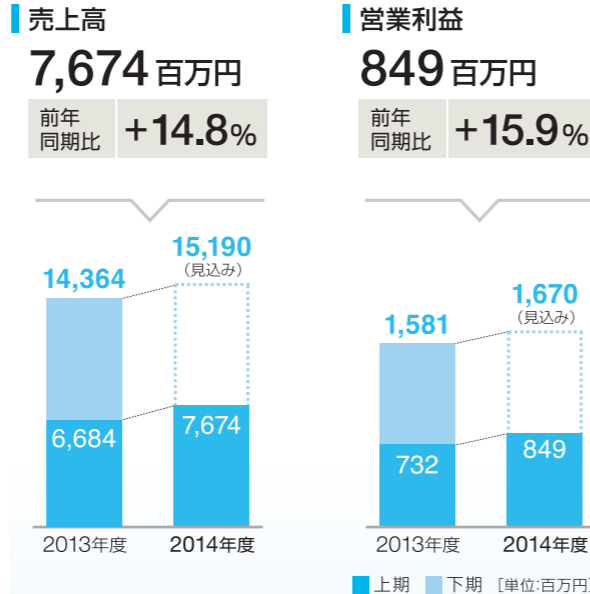
科目	第86期 第2四半期	第87期 第2四半期
	平成25年4月1日から平成25年9月30日まで	平成26年4月1日から平成26年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,192	1,422
投資活動によるキャッシュ・フロー	△478	△607
財務活動によるキャッシュ・フロー	△137	△194
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	20
現金及び現金同等物の増減額	577	639
現金及び現金同等物の期首残高	3,581	4,293
現金及び現金同等物の四半期残高	4,158	4,933

セグメント情報

■ 部門別売上高比率 (2014年9月)



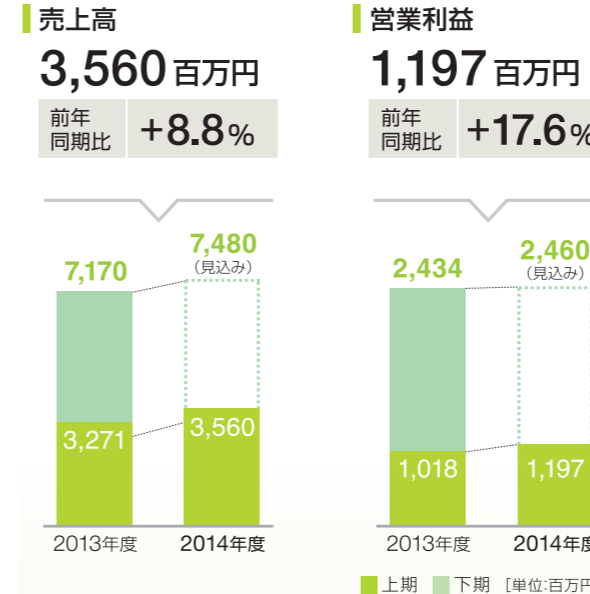
売上高構成比率 68% コンデンサ・モジュール部門



鉄道車両用
フィルムコンデンサ

鉄道車両用フィルムコンデンサが好調に推移し、大幅に伸ばしました。海外向け商品の増産、および、新規受注により、前年同期の約2倍に迫る勢いで売上げを伸ばしております。この状況はさらに続くとみており、引き続き、生産・販売に注力してまいります。

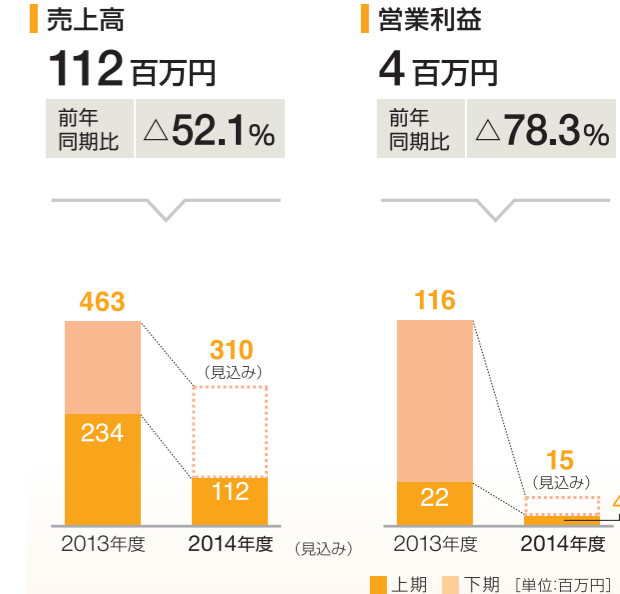
売上高構成比率 31% 電力機器システム部門



アクティブフィルタ

電力品質改善装置が伸ばしました。なかでも、高調波障害対策装置のアクティブフィルタが、震災復興事業の開始や、大規模工事などの案件を受注したことにより、売上げを伸ばしました。今後も販売増強を図ってまいります。

売上高構成比率 1% 情報機器システム部門



バス車載用
運賃表示装置

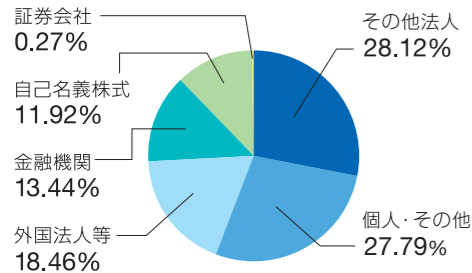
主力商品であるバス車載用運賃表示装置が今期も堅調に推移しました。運賃表示のほかに停留所や各種お知らせ表示も可能な装置です。商品ラインナップの拡充を進めており、今後も新商品開発を強化してまいります。

※セグメント別の営業利益については、調整額△822百万円があります。

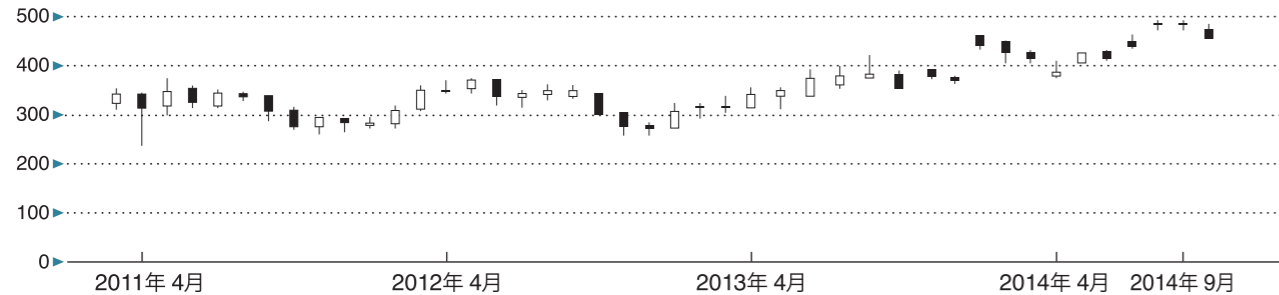
株式の状況

会社が発行する株式の総数	128,503,000株
発行済株式の総数	33,061,003株
株主数	3,385名

所有者別株式数分布状況



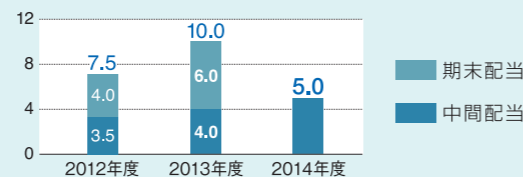
株価の推移(円)



当期中間配当金 1株当たり 5円

1. 中間配当金 1株当たり5円
2. 支払対象者 平成26年9月30日現在の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者
3. 支払開始日 平成26年 11月28日(金)

1株当たりの配当実績 (単位:円)



大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
三菱電機株式会社	6,980	21.1
ピーエヌワイエム エスエーエヌパイ ピーエヌワイエム クライアント アカウント エムピーシーエス ジャパン	4,298	13.0
株式会社りそな銀行	1,299	3.9
指月協友持株会	956	2.8
株式会社みなと銀行	925	2.7
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社	826	2.4
株式会社村田製作所	571	1.7
株式会社ノーリツ	560	1.6
指月電機製作所自社株投資会	528	1.5
ザ チェース マンハッタン バンク エヌアイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	419	1.2

会社概要

商号 株式会社指月電機製作所
 英文名称 SHIZUKI ELECTRIC COMPANY INC.
 本店所在地 〒662-0867
 兵庫県西宮市大社町10番45号
 TEL:0798-74-5821
 ホームページ <http://www.shizuki.co.jp/>
 創業年月日 1939年 3月10日
 設立年月日 1947年 9月 1日
 資本金 5,001,745,595円
 グループ人員数 1,283名
 主要取扱業務 ■コンデンサ及び関連機器・装置
 ■電力機器・装置
 ■情報機器・装置
 の製造販売
 営業拠点 ●東京支社
 ●東京支店/関西支店/中部支店
 ●札幌営業所/仙台営業所/日立営業所
 広島営業所/福岡営業所
 ●マレーシア連絡事務所

生産子会社

社名	資本金	出資比率(%)
九州指月株式会社(福岡県)	300,000千円	100.0
秋田指月株式会社(秋田県)	300,000千円	100.0
岡山指月株式会社(岡山県)	200,000千円	100.0

販売・生産子会社

社名	資本金	出資比率(%)
アメリカンシツキ株式会社 (米国 ネブラスカ州)	17,600千米ドル	100.0
指月獅子起(上海)貿易有限公司	250千米ドル	100.0
タイ指月電機株式会社(タイ バンコク)	33,000千バーツ	70.0

役員

取締役

取締役会会長	伊藤 薫*
取締役	友松 哲也*
取締役	山本 則彦
取締役	増田 幹登*
取締役	鳥川 光春*
取締役	森 公利*

*は執行役を兼任 **は社外取締役

執行役

代表執行役社長	伊藤 薫
専務執行役	足達 信章
常務執行役	谷口 義裕
常務執行役	友松 哲也
執行役	矢部 久博
執行役	小田 敦
執行役	藤原 健吾